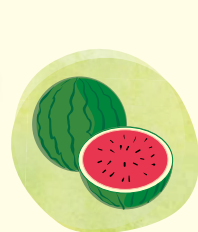


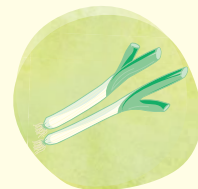
スイカ

芝山経済センター 営農指導員 山本 匠



農業

テクニカルダイアリー



夏ネギ

やさいの里営農センター 営農指導員 嶋田 俊之

生育期間中の管理

夏ネギで問題となるべと病・さび病・白絹病等の多くの病気は、多湿により発生・まん延しやすくなります。一度発生すると防除が困難なため、予防が重要です。

排水対策も重要で、収穫が近づいてきたら特に注意してください。排水の悪い圃場では、あらかじめ明渠の設置等の排水対策を講じましょう。また降雨が予想されるときは、早めに防除を行ってください(表①参照)。

止め土から収穫までの注意点

秋冬ネギと同様に首元まで止め土をすると、収穫後の腐りなど、品質低下につながる恐れがあります。夏ネギの土寄せは、ネギの首下までに留めましょう。

止め土から1カ月以上経過すると、急激に老化が進みます。止め土から20〜25日程度で収穫が終わるよう、栽培スケジュールを調整しましょう(表②参照)。

ユールを調整しましょう(表②参照)。

主な病害とその対策

べと病

気温15〜20℃、多湿降雨の条件下で発生します。風通しが悪くモヤがかかるような圃場や、窒素過多・軟弱株でも発生しやすくなります。

さび病(写真①)

気温17〜23℃、多湿の条件下で発生します。被害株から胞子が飛散し、周囲の株にまん延します。胞子の発芽適温は9〜18℃であり、発病適期より気温が低い時期から胞子が動き出します。

白絹病(写真②)

気温の上昇とともに被害が発生します。25〜30℃、多湿で最も発病しやすく、生育不良と地際の菌糸が特徴です。特に、乾燥状態の後に過湿状態が続くと激増します。

土寄せ前に予防的に防除しましょう。トンネル被覆除去後、土寄せ時にユニフォーム粒剤の散布が効果的です。

部分に白色、粉状の病斑が現れます。症状が進行すると、葉全体が白く覆われ、葉縁から褐変して枯れ上がります。うどんこ病菌は、低湿度かつ冷涼な環境を好み、乾燥と湿潤を繰り返すことで広がっていきます。水管理と湿度管理に注意しましょう。

アブラムシ類

有翅虫(翅のある成虫)が飛来する3月以降に、発生が多くなります。多発すると葉に縮れが生じ、モザイク病の伝染源になります。短期間のうちに高密度になるので、有翅虫が見え始めたら注意が必要です。

ハダニ類

ハダニ類は18℃以上あれば増え、特に25〜28℃の高温、乾燥の条件では7日間隔で産卵して、増殖が盛んになります。世代交代が早く薬剤抵抗性が発達しやすいので、系統の異なる薬剤をローテーション散布

表③ スイカに登録のある薬剤

対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数
つる枯れ病	アミスター 20フロアブル	2000倍	収穫前日まで	4回以内
つる枯れ病 うどんこ病	ストロビーフロアブル	2000〜3000倍	収穫前日まで	3回以内
	アフエットフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内
	トリフミン水和剤	3000倍	収穫前日まで	5回以内
	ポリオキシシンAL水溶剤	2000倍	収穫3日前まで	5回以内
アブラムシ類	チェス顆粒水和剤	5000倍	収穫3日前まで	4回以内
	トランスフォームフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内
	バリアード顆粒水和剤	2000〜4000倍	収穫前日まで	3回以内
アブラムシ類 ハダニ類	モベントフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内
ハダニ類	アグリメック	500〜1000倍	収穫前日まで	3回以内
	ダニオーテフロアブル	2000倍	収穫前日まで	2回以内
	ダニサラバフロアブル	1000倍	収穫前日まで	2回以内

しましょう。ハダニ類は下葉、株元から発生して葉裏に寄生しているの、薬剤散布の際はこれらの箇所にしつかりとかかるよう丁寧に散布してください。

営農なんでも相談室

皆さまの営農に関するお悩みを、JAの総合事業の力で解決！栽培管理、コスト削減、規模拡大、求人・雇用のことなど、お気軽にご相談ください。

JA山武郡市
営農なんでも相談室
(本所 営農部内)
☎0120-972-860

表① ネギに登録のある殺菌剤一覧

薬剤名	適用病害			使用量・希釈倍率	使用時期	使用回数	特性	
	べと病	さび病	白絹病				予防	治療
ユニフォーム粒剤	●	●	●	9kg/10a	収穫45日前まで(土寄せ時)	1回	○	○
リドミルゴールドMZ	●			1000倍	収穫14日前まで	3回以内	○	○
メジャーフロアブル	●	●	●	2000倍	収穫前日まで	3回以内	○	○
カナメフロアブル		●	●	4000〜8000倍	収穫前日まで	4回以内	○	×
パレード20フロアブル		●	●	2000倍	収穫前日まで	3回以内	○	×
アミスター 20フロアブル	●	●		2000倍	収穫3日前まで	4回以内	○	○
モンカット粒剤			●	4〜6kg/10a	収穫30日前まで(土寄せ時)	4回以内	○	×
リゾレックス水和剤			●	1000倍	収穫14日前まで(土寄せ時)	3回以内	○	×

表② 管理作業時期の目安

土寄せ①	4月10日	4月25日	5月10日
土寄せ②	4月25日	5月10日	5月25日
土寄せ③	5月 5日	5月20日	6月10日
止め土	5月15日	6月 5日	6月20日
出荷開始	6月 1日	6月20日	7月 5日



写真② 白絹病



写真① さび病